

SEBASTIAN THRUN

Founder of Google X Lab

LONDON
SPEAKER
BUREAU



セバスチアン・スランは、革新者、起業家、教育者、そしてコンピューター科学者です。彼はKittyHawk CorporationのCEOでありUdacityの会長兼共同創設者です。それ以前は、スタンフォード大学でGoogleVP兼フェロー、コンピューターサイエンスの教授を務め、それ以前はカーネギーメロン大学で働いていました。グーグルで、彼はグーグルXとグーグルの自動運転車チームを設立しました。彼は現在、スタンフォード大学とジョージア工科大学の非常勤教授でもあります。

Thrunは、2005年のDARPAグランドチャレンジで優勝したロボット車両Stanleyの開発を主導し、それ以来、スミソニアン博物館の国立アメリカ歴史博物館に展示されています。彼のチームはまた、ジュニアと呼ばれる車両を開発しました。これはDARPAグランドチャレンジ(2007)で2位になりました。Thrunは、Googleの自動運転車の開発を主導しました。

Topics

- Artificial Intelligence
- Business
- Future
- Innovation
- Technology

Sebastian Thrunは、ロボットマッピングなどのアプリケーションを使用したロボット工学の確率的アルゴリズムに関する研究でも知られています。彼の貢献が認められ、39歳で、2007年に全米技術アカデミーおよび科学アカデミーレオポルディーナに選出されました。2011年には、マックスプランク研究賞と初のAAAIエドファイゲンバウムを受賞しました。賞。Fast Companyは、ビジネス界で5番目にクリエイティブな人物としてThrunを選択しました。ガーディアンは彼を20人の「インターネットの自由のための戦闘機」の1人として認めました。